

阿波市全庁評価シート 平成30年度実施事業対象

PLAN	No.	14	—	1	基本事務事業名	地域公共施設管理事務	事務事業名	土成コミュニティセンター管理事務	公的関与	6	シート作成日	令和元年6月4日		
	部局名	市民部			課名	土成支所地域課	主務課長名	成谷 史代		シート作成者名	村山 猛之			
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託			
		☐ 2 ハード事業		☒ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)					6. 共に生き、共につくる阿波		実施計画		事業の開始・終了			
		基本計画(施策)					(3)コミュニティ活動の促進		☒ 1 該当		平成 年 ~ 令和 年	☒ 期間設定なし		
		主要施策					(3)コミュニティ活動の活性化支援と人材育成		☐ 2 非該当		根拠法令等	阿波市コミュニティセンター設備及び管理に関する条例		
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		施設利用者等										
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	地域住民にコミュニティ活動を行う場を提供し、その活動及び地域自体の活性を支援します。										
			今年度	適切な施設の維持管理、周辺施設との連携を図ります。										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 施設・設備の適切な運営・維持管理を行います。													
	② 施設利用者の申請受付等の迅速な対応と業務の効率化を図ります。													
	③													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 29 年度	平成 30 年度	令和 1 年度	最終目標				
	稼働日数		年間延べ利用日数		日	目標	300	300	300	365				
						実績	240	260						
						目標								
						実績								
						目標								
						実績								
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	12	支所費
			平成 29 年度決算		平成 30 年度決算		令和 1 年度予算		備考					
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円		研修室のみの貸出しとなってま す。					
		県支出金	千円		千円		千円							
		地方債	千円		千円		千円							
		その他特定財源	498 千円		494 千円		210 千円							
		一般財源	625 千円		1,437 千円		581 千円							
		計(A)	1,123 千円		1,931 千円		791 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.200 人	1,186 千円	0.200 人	1,161 千円	0.200 人	1,208 千円						
		臨時・嘱託職種												
		臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円						
	全体事業費(A+B)		2,309 千円		3,092 千円		1,999 千円							

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	長年、地域住民の身近な施設として利用されています。また、災害時の避難場所としても活用しています。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	憩い、集会、教養、スポーツ等の地域交流の拠点として重要な役割を果たしています。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☒ する	☐ しない		☒ する	☐ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	毎月の定期的な利用者に加え、新規利用者の貸し出し等もあり、利用率は安定しています。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☒ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	利用者の目的や人数にあった施設を勧め、効率の良い貸し出しを行っています。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	3	4	4	A	4	3	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実		☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	☐ 拡大・充実		☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等
		☐ 縮小		☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		☐ 縮小		☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止	
	当面の課題	土成コミュニティセンターは、100畳の和室のみの利用であるため、用途、人数に応じた貸し出しが困難です。なお、コミュニティセンターとしての機能に加え、災害時の避難所にも指定されているため、建設後、多年が経過し、老朽化した施設の修繕が必要になると思います。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	利用者の目的・人数によっては、周辺施設の紹介をするなど、利用者にとって、効率のよい施設の貸し出しをめざします。また随時、修繕等を行い、施設の維持管理に努めます。					「阿波市公共施設個別管理計画」に沿った適切な維持管理を行います。				
委員会指摘事項											

PLAN	No.	14	—	2	基本事務事業名	地域公共施設管理事務	事務事業名	土成支所管理事務	公的関与	6	シート作成日	令和元年6月4日			
	部局名	市民部			課名	土成支所地域課	主務課長名	成谷 史代	シート作成者名	村山 猛之					
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☒ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共につくる阿波				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(5) 計画的な行財政運営の推進				☐ 1 該当		平成	年	～	令和	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(3) 公共施設の総合的な管理の推進				☒ 2 非該当		根拠法令等		阿波市支所設置条例			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	土成支所利用者等												
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	支所の適切な維持管理を行い、長期的・持続的な住民サービスの向上に努めます。											
			今年度	支所の適切な維持管理を行い、住民サービスの向上に努めます。											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 支所の適切な維持管理を行います。														
	② 支所及びその周辺の環境づくりを行います。														
	③														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 29 年度	平成 30 年度	令和 1 年度	最終目標							
		数値目標を設定する事務ではありません。		目標											
				実績											
				目標											
				実績											
				目標											
			実績												
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	12	支所費	
			平成 29 年度決算			平成 30 年度決算			令和 1 年度予算			備考			
	直接事業費	国庫支出金	千円			千円			千円						
		県支出金	千円			千円			千円						
		地方債	千円			千円			千円						
		その他特定財源	千円			千円			千円						
		一般財源	2,502 千円			2,600 千円			3,162 千円						
		計(A)	2,502 千円			2,600 千円			3,162 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.800 人	4,744 千円	0.800 人	4,644 千円	0.800 人	4,830 千円							
		臨時・嘱託職種													
		臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円							
	全体事業費(A+B)		7,246 千円			7,244 千円			7,992 千円						

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	高齢者・障がい者・交通手段のない方々にとって、支所の必要性は極めて高いと言えます。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	支所があることにより、高齢者・障がい者・交通手段のない方々の負担を大きく軽減し、利便性を図るとともに、行政の円滑な運営を行います。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	十分に達成できています。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☒ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	効率的な施設管理に努めています。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持		☐ 方法改善	☐ 民間委託等	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民間委託等 ☐ 縮小 ☐ 統合/終期設定 ☐ 廃止/休止					
	当面の課題	住民サービス向上のための人員確保については、再任用職員の配置により確保できています。支所があるコミュニティセンターは、建築後多年が経過し、老朽化しており、今後は修繕が必要になるかと思われます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	再任用職員の配置により、人件費が削減されます。修繕等については、随時実施し、施設の維持管理に努めます。					市民の立場に立った親切丁寧な対応により、更なる窓口サービスの充実・向上に努めます。				
委員会指摘事項											